

30th Anniversary  
YEG 青年部だより

# 革新

# 進

第 87 号

平成 29 年度  
八戸 YEG スローガン

情熱を行動に  
～歴史と伝統を次世代に繋ぐ  
新たな YEG の礎を築き  
求められる YEG に～

## 臨時総会 全国サッカー大会開催地立候補を決議

3月9日(金)モルトン迎賓館にて臨時総会を開催し、商工会議所青年部第18回全国サッカー大会の八戸開催へ立候補する決議を行い、全会一致で可決しました。

臨時総会では柏崎瑞貴会長が議長を務め、私、木田が議案の内容を説明しました。議事終了後、柏



崎会長は「八戸 YEG の全体事業として、全員で盛り上げよう」と呼び掛けました。

商工会議所青年部全国サッカー大会は 2018 年で 16 回目の開催となり、近年、参加者が増加し規模を拡大しています。YEG のコンベンションとして有数の事業に進化しており、地域への経済効果も増えています。

誘致活動を始めてから開催地に決定され、開催に至るまでには最短で 3 年間が必要となるため、私たちは 2020 年に開かれる第 18 回大会の誘致を目指して活動を開始します。

一方、八戸地域では、サッカー専用スタジアムや屋内スケートリンク、アイスホッケーリンクがオープン、または建設中です。全国サッカー大会の誘致が決まること

で、全国の方々を呼び込んで、このまちを楽しんでもらうことができればと思っています。

八戸の未来に対して、責任世代であり青年経済人である私たちの力を結集して、本大会を誘致してまちおこしの起爆剤にできればと思っています。

今後は、青森県連、東北ブロックを含む全国の YEG 組織で PR 活動を展開し誘致実現を目指します。メンバーの皆さまにはご協力を、メンバー以外の皆さまにはご支援をお願いいたします。

スポーツまちおこし委員会

委員長 木田 茂雄  
(有)サンキョウ企画

## 1月定例会 YEG全国サッカー大会への理解深める

1月23日(火)八戸グランドホテルにて、1月定例会を開催しました。

研修会では、スポーツまちおこし委員会企画による「YEG 全国サッカー大会」の認識を深めました。

当日は、平成 28 年に山形県長井市で開催された「商工会議



所青年部第 14 回全国サッカー大会「長井大会」で大会会長を務められた長井 YEG の芳賀武氏と大会実行委員長を務められた渡部正之氏をお招きし、八戸 YEG の吉田広城副会長を加えた 3 名のパネラーと、当委員会の立場輝栄委員の進行によりパネルディスカッション形式で研修会を開催しました。

長井 YEG として大会を誘致したきっかけ、PR 活動の展開と誘致実現、大会開催までの苦労話、大会終了後の反響などをお二人に熱くお話し頂きました。

大会で約 1500 人の参加者を集め、地域に約 1 億円の経済波及効果をもたらしたと伺い、また山形県や長井市並びに地域の協力を得て開催したことは、大会自体が持つパワーや長井 YEG メンバーの行動力を改めて認識する機会となりました。

研修会の最後には、八戸で開催した場合のコミュニケーションを紹介し、出席者への開催の実現性と同時に、このまちの持つポテンシャルの高さを示すことができました。

スポーツまちおこし委員会 副委員長 石橋 信雄  
大丸商事(有)

### 第5回東北フットクYEGフットサル大会 杜の都仙台大会に参加

3月3日(土)

4日(日)に

宮城県仙台市で

開催された「第

5回東北フロッ

クYEGフットサ

ル大会杜の都仙

台

大会」に、メン  
バー有志でチームを結成し参加して  
きました。

八戸YEGは総勢22名の登録で臨  
み、予選リーグで相馬YEGに勝利  
し、仙台YEG FCに惜敗、大曲  
YEG・Aチームに勝利し2勝1敗  
で決勝トーナメントへ進出。準々決



勝で敗れたも  
の2年連続  
で決勝トーナ  
メントに勝ち  
残り、八戸Y  
EGの団結力  
をアピールで  
きました。

今回のフツ

トサル大会で

は、応援メン

バーも含めてチーム一丸となって

ゴールに向かい、目標を達成する

喜びと感動を分かち合うことができ

ました。他チームから応援の声

が飛び交い、好プレーには会場全

体が一つになって盛り上がりまし

た。「スポーツの力」の偉大さを

改めて感じた大会でもありました。

また、私たちが目指す「スポー

ズのまちおこし」へ向け、東北各地

のYEGメンバーと交流を深められ

たことは大変有意義でありました。

今後は、夏のサッカー全国大会と冬

の東北フットサル大会に継続参加し

ながら多くの設えを学び、八戸で全

国サッカー大会を開催できる時まで

に万全な状態を整えることができ

ばと思います。

スポーツまちおこし委員会

副委員長 大嶋 秀樹

(株)ウイクトリア



### 共同開発商品販売会

第5回ジュニアエコノミーカレッジ

(ジュニエコ) 優勝チームの「輝け吹

上クラフト」(吹上小学校6年生)

と有限会社やまはるとの共同開発

商品の販売会が2月17日(土)、や

まはる旭ヶ丘店にて開催されました。

今回の共同商品開発は、11チー

ムが参加したジュニエコで優勝し

た副賞として実現しました。ジュ

ニエコ終了後の12月から、どのよ

うな弁当や惣菜にするかのアイデ

ィアを考えて、それを商品化。惣

菜15種類・弁当2種類を製造し、

約100食販売しました。

チームのメンバーはおそろいの

特製エプロンを身に付けて商品を

陳列し、開催セレモニー後に販売

を開始しました。緊張からか、最

初は少し元気がない様子でしたが、

途中から店内を回って宣伝したり

お客様に響きそうなフレーズを考

えて声を掛けたりと、頑張って販

売していました。

えんぶり

の開催期間

と重なり客

足が心配さ

れたものの、

子どもたち



の頑張りもあり終了予定時間を待  
たずに完売しました。

みらい人財委員会

担当副会長 桑原 富美一

付加価値経営研究所

### 八戸で東北フロックYEG 次年度予定者会議を開催

2月3

日(土)八

戸グランド

ホテルにて、

平成30年度

東北プロッ

クYEG第

一回役員予

定者会議が開催されました。東北

6県から集まった新メンバーで顔

合わせを行い、運営方針やスケジ

ユールの確認、各委員会では事業

についての打ち合わせ等、4月か

らの新体制で気持ちの良いスター

トを切るために準備を整えました。

また、野坂哲司本年度会長の講演

やエンジェルタッチ研修も開催し、

初出向者を中心に理解を深めまし

た。懇親会では八戸YEGメンバ

ーも多数参加し、普段お会いする

機会の少ない各地の会員とも交流

を図る事ができました。

東北フロックYEG

次年度委員長予定者 松橋 里実

(株)松橋不動産



### 30周年記念事業で ベトナムを視察



青年部創立30周年記念事業として、1月10日（水）から15日（月）の日程で、ベトナム国ホーチミン市を視察しました。

到着後すぐにJETROホーチミン事務所を訪ねてベトナム国の概況説明を受け、面積や人口、民族・宗教・政治・経済や日本からの業種別新規投資額などを研修しました。

ベトナム進出のメリットは労働力の確保、並びに将来成長が見込まれる市場規模、とのこと。デメリットとしては人件費高騰、原材料などの現地調達率の低さ、法制度や商習慣の不透明さが挙げられていました。

現地の高島屋も訪問し、「ジャン・アオモリ・フードフェア 2018」を視察しました。イベントでは県内企業が自社商品をPRしており、現地住民の集まり具合から関心の高さを知ることができました。個人的には県産リンゴが大々的に販売されている状況に對して、うれしさと驚きがありました。

海外視察を終えて、ベトナムでのビジネスを検討する必要性はもちろんのこと、自社でもYEGでも新しい事業に果敢にチャレンジしなければいけないとの思いも強くなりました。

みなと創生委員会

委員長 菊地 優一郎

(株)吉田産業八戸支店

### 宿泊研修会開催

2月10日（土）から、11日（日）の二日間、東北町の東北温泉にて宿泊研修会を開催しました。私は

仕事の都合で午後4時半に八戸車で出発。そのまま懇親会に参加しました。懇親会は筆舌に尽くしがたいほど盛り上がり、YEGの一員としての意識を高めながらストレスを発散することができました。少し残念だったのは新入会員の参加が少なかつたことです。次

回は多くの新入会員と共に楽しみたいと考えています。私は11日に実家の青森市へ帰省したところ、某氏より「風呂道具を忘れた」との連絡が。12日は3日目の湯治と相成りました。

みらい人財委員会

委員長 清野 大輔

清野社労士事務所

### 全会岐阜かがみはら大会に参加

第37回日本YEG全国大会「岐阜かがみはら大会」が2月16日（金）～18日（日）に開催され、メンバーと共に参加してきました。緊張感ある会員総会、全国の仲間と久し振りに会えた大懇親会、記念式典などと盛り沢山の内容でした。また岐阜県連メンバー

の設えやおもてなしが感動的でした。来年の大会は宮崎県で開かれます。多くのメンバーで参加しましょう！

八戸商工会議所青年部

会長 柏崎 瑞貴

(有)華コーポレーション



### Aライン協議会 如大館アメッコ市

2月10日（土）11日（日）の2日間、今年度のAライン協議会の第2回事業である大館アメッコ市が秋田県大館市で開催されました。2013年8月に記録的な集中豪雨に見舞われ甚大な被害を受けた大館市を盛り上げようと、翌年のアメッコ市からAライン協議会ブース「北東北うまいもん市」を出店しています。

5年目となる今年は、むつYEG「むつ大湊海軍コロッセ（カレーライス風）」、久慈YEG「久慈まめぶしるこ」、八戸YEG「地酒大吟醸甘酒」、青森YEG「味噌カレー牛乳モツ煮込み」を販売し、所属県連を超えたYEG間の情報交換・会員親睦を深めることができました。



Aライン協議会

直前会長 島守 英樹

(株)島守ダクト

# ご卒業

# おめでとうございます

本年度、八戸 YEG からは 5 名の方々がご卒業されました。

**鎌田 尚** (有)マルキョウスマイルフーズ 南部圏スクラム 8 委員会



YEG は「仕事と関係ないことに時間を費やす集団」だと思っていました。その勘違いに気づいたのは最近です。津波から 7 年、我が水産業界の激震は途切れることはありません。在籍中の県連出向時では時間調整が出来ず、目先の社業のみ考えた自分が残念でなりません。後悔ばかりの年月でしたが、明るい皆さんに楽しませてもらい感謝です。はっはっは。

**接待 純一** 東邦開発土木(株) みらい人財委員会



在籍中はあまり活動に参加することができなく卒業することになりましたが、日頃の皆さまの活動に常に感嘆しておりました。今後は自身の事業活動を通して、地域の発展に微力ながら貢献していきたいと思っております。ありがとうございました。

**粒来 照彦** (株)しぐまリース 南部圏スクラム 8 委員会



短い期間ではありましたが、在籍中は広域連携ビジネス委員会、南部圏スクラム 8 委員会にお世話になり、貴重な体験をさせて頂くことができました。本当にありがとうございました。皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

**虻川 修** (株)サクサエンジニアリング 総務・活性化委員会



入会して 9 年経ちますが、イベントに数回参加した程度で満足に活動することができないまま卒業することとなりました。青年部で出会った皆様には感謝いたします。ありがとうございました。

**高木 幹人** 東復建設(株) みらい人財委員会



平成 22 年入会以降、ほとんど活動に参加することができずに卒業することとなり、所属メンバーの皆様には大変ご迷惑をおかけ致しました。青年部の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。8 年間ありがとうございました。

平成 29 年度の八戸 YEG 会員獲得活動では、みなと創生委員会が最多の 7 名を獲得し 3 月定例会で表彰されました。表彰式では柏崎会長から代表者に八戸ワイン 6 本が贈られ、委員会メンバーで喜びを分かち合いました。ほかの委員

## 会員拡大で表彰

副委員長 向井 誠仁 (株)ジーアイテック



## YEG 全国会長研修会

日本商工会議所 青年部第 35 回全国会長研修会「出雲の国ご縁会議」が 12 月 1 日(金)、

## 五所川原で県連次年度予定者会議

青森県商工会議所青年部連合会の今広樹次年度会長が掲げた新スローガン「NO YEG, NO LIFE!」の下、平成 30 年度第 1 回役員予定者会議が五所川原市で開催されました。県連創立 30 周年の節目を迎えるため、周年事業に向けた委員会もスタートしました。八戸 YEG の皆様には本年度同様、変わらぬご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

青森県商工会議所青年部連合会 会長 中村 知行 (有)中ペン塗装店

会も着実に会員を獲得しており、次年度も更に仲間を増やし組織強化を目指して活動を続けます。 総務・活性化委員会 副委員長 小野澤 匡洋 (有)朝日堂

## 編集後記

商工会議所青年部全国サッカ大会の誘致は八戸 YEG の次年度最大の事業です。メンバー一丸となつて勝ち取りましょう！ 総務・活性化委員会 委員長 熊谷 勝之 (株)デーリー東北新聞社